

トムス RX フロントスポイラー

このたびはトムス フロントスポイラー(以下スポイラー)をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品の取り付け方法を以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等でご不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、弊社技術までお問い合わせください。

本製品の内容及び付属品は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

適応車種 本製品は以下の車種に対応しています。(2016年11月)

レクサス RX450h 200t(VerL,標準バンパー) GYL2#,AGL2#平成27年10月～ レクサス純正用品、他社製エアロパーツとの併用はできません。

取り付け上のご注意 以下の注意を必ず守るようお願いいたします。

- 1.フロントスポイラー取り付け作業は、必ず作業員2名で行ってください。
- 2.フロントスポイラー脱落防止のため、両面テープは確実に圧着し、取り付けボルト等はしっかり締めてください。また、走行前にゆるみがないかチェックしてください。フロントスポイラーが脱落した場合は、重大事故につながる恐れがあります。
- 3.車両をジャッキアップする際は、必ずリジットラック等で車両を固定してください。
- 4.塗装に際しては以下の点にご注意ください。
(詳しくは「フロントスポイラー素地品の塗装手順」を参照の事)
ボディコート塗布車両は、プライマーの接着力促進効果を発揮できない場合があります。プライマー塗布面のボディコートは塗装用コンパウンド(細目以上)で剥離し、アルコールなどで拭き取り除去してください。
- 7.両面テープの接着力は、気温が15℃以下になると低下します。両面テープ及び接着面を加熱器等で温めてから貼付けを行ってください。
- 8.両面テープの接着力防止のため、本製品の装着直後(24時間以内を目安)の洗車は行わないでください。両面テープの貼り直しをすると接着力が極端に低下するため、貼り直しは行わないでください。
- 9.純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
- 10.フロントスポイラー装着により、標準バンパーより全長約27mm長くなり、地上高約38mm低くなります。
- 11.本製品は車両登録後の取り付けを前提としております。登録前に取り付けをする場合は持ち込み登録となります。
- 12.塗装済み品につきましては使用している材料の違い等により車両本体の色と完全に一致しない場合があります。

構成部品 本製品は以下のパーツで構成されております。欠品や破損等が無いことをご確認ください。

【フロントスポイラー構成部品】



- ①フロントスポイラー x1
- ②フロントスポイラーインナーピースx1
- ③トムスエンブレムx1
- ④プライマーx1
- ⑤タッピングスクリュー(M4x20mm)x4
- ⑥ゴムワッシャー(3mm)x4



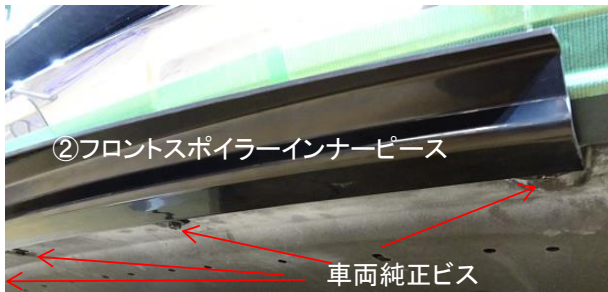
取付要領



↑部位のタッピングスクリュー中央部4本を外す。

- 1.フロントバンパー下面中央部の車両ビスを4本(左図参照)を取り外す。

※取り外した車両ビスは再利用する。

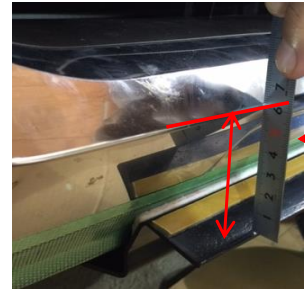


②フロントスポイラーインナーピース

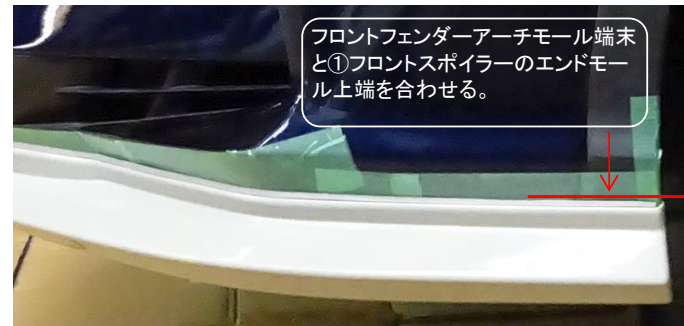
車両純正ビス



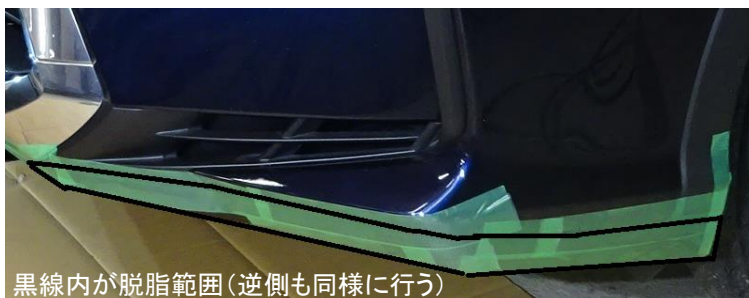
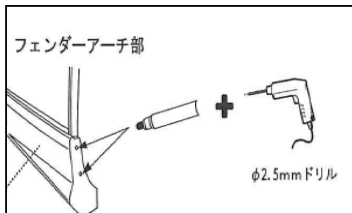
車両中央部のメッキ部分のR止まりから②フロントスポイラーインナーピースまでの直線距離約55mm



車両左右端部のメッキ部分のR止まりから②フロントスポイラーインナーピースまでの直線距離約60mm



フロントフェンダーアーチモール端末と①フロントスポイラーのエンドモール上端を合わせる。



黒線内が脱脂範囲(逆側も同様に行う)

2.②フロントスポイラーインナーピースをバンパーにあてがい、1.で外した車両ビスを使用し、仮止めをする。

3.②フロントスポイラーインナーピースの取り付け位置を左図を参考にきめて、両面テープ離形紙を50mm程剥がす。

取り付け位置をきめたら両面テープ離形紙を引き抜き圧着をし、車両ビスを本締めする。

注意！

この部品は①フロントスポイラー装着時の受けとなりますので車両側への取り付けをしっかりとやること

4.①スポイラーを左図参照に仮あわせをし、取り付け位置をきめたら、マスキングテープでマーキングをする。

注意！

スポイラー位置を確認する際に必ずバンパー側を養生テープ等を使用し、バンパー保護をする事。

注意！

マーキングが正しく行われないと、スポイラーが正しい位置に取り付けられず脱落の原因となる。

注意！

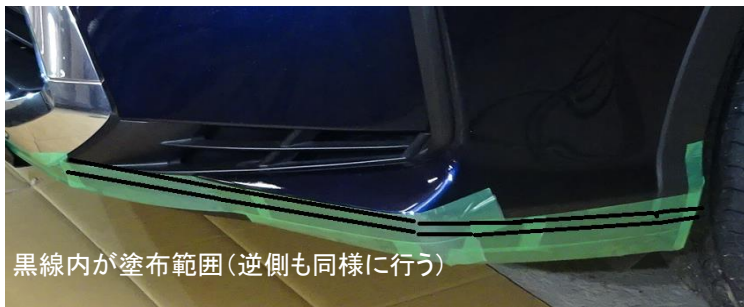
スポイラーのエンドモールとバンパーの間に隙間が発生する場合は、スポイラー位置に原因があります。スポイラーを約5mm範囲内で上下の位置、左右の位置を調整する。

5.取り付け位置に合わせて、穴位置(フェンダーアーチ部)をマーキングし、①スポイラーを一度外して2.5mmの穴をバンパーに左右4ヶ所あける(左図参照)

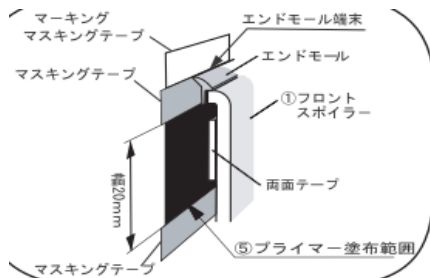
6.フロントバンパーのゴミ、ホコリをウエスで除き脱脂処理をおこなう。(左図参照)
※逆側も同様におこなう。

注意！

脂分の付着は、両面テープの接着力が低下するため接着面の脱脂処理は十分に行う。



黒線内が塗布範囲(逆側も同様に行う)



7.①スポイラーの両面テープ貼り付け位置を確認し、④プライマー塗布範囲をマスキングテープでマスキングをする。(左図参照)

注意！

塗布範囲は、エンドモール端末からのみだしがないように気をつけて作業を行う。

8.④プライマーをマスキングテープに沿って塗布し、標準状態で10分以上放置し十分に乾燥させる。

注意！

プライマー使用に際しては、3M PACプライマー N200取扱説明書に従い使用する。
乾燥の標準状態: 23℃で10分~3時間ほこり。汚れ水滴が付着しないように十分に乾燥させる。
気温15℃以下では、加熱器を使用して温める。
塗装面を黄変させる為、はみだしたプライマーはアルコール等で拭き取る。



9.②フロントスポイラーインナーピースの上面と下面の両面テープ離形紙を左右50mm程剥がし、①スポイラーをバンパーにあてがい、取り付け位置、左右バランスを確認し、車両中央からタイヤ側に向かって(②フロントスポイラーインナーピースの離形紙は車両中央に向けて)圧着しながら両面テープ離形紙を引き抜く。

アドバイス！

②フロントスポイラーインナーピースの両面テープ離形紙はバンパーに貼り付け、上面から離形紙を引き抜き圧着すると作業がしやすい。

両面テープの圧着は、車両が少しゆれる程度 [49N(5kgf/cm²)] で行なう。



注意！

両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下するため、ボディにつかないように気をつけて作業をおこなう。



③トムスエンブレム



10.各タッピングスクリューを本締めしたら
①スポイラー中央部のエンブレム貼り付け部をしっかりと脱脂し③トムスエンブレムを貼り付ける。

(お問い合わせ先)
株式会社 トムス
TEL: 03-3704-6191
月~金 AM9:00~PM5:00



フロントスポイラー素地品の塗装手順

※素地品は塗装前に必ず仮取付けをして、各部に不具合がないか確認をしてください。

塗装後のクレームには応じません。

構成部品

- ①フロントスポイラー x1
- ②フロントスポイラーインナーピースx1
- ③トムスエンブレムx1
- ④プライマーx1
- ⑤タッピングスクリュー(M4x20mm)x4
- ⑥ゴムワッシャー(3mm)x4
- ⑦エンドモール(グレー、ブラック)各1

※塗装、作業前に不足品がないか必ずご確認ください。

※②フロントスポイラーインナーピースの塗装に関してはお好みに応じて塗装有り無しをしてください。

I. 塗装作業手順

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂をする。
2. サフェーサー処理を行う。
3. 塗装を行う。塗装乾燥の加熱温度は60度以下で行うこと。

注意！

本製品はABS樹脂製のため適切な塗料を使用する。

注意！

60度以上の加熱は製品変形の恐れがある。

II. モールの貼付け作業

1. 塗装終了後、⑦エンドモールを仮付けしアール部分にシワがよるか確認をする。

注意！

シワがよるようであればモール貼付け時にカットを入れる。

2. ⑦エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、④プライマーを塗布する。

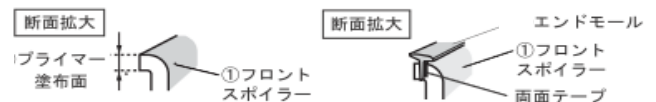
注意！

プライマーが塗装面に付着すると、塗装を傷めるためはみ出し等に気をつけて作業をする。

3. 下図の要領で⑥エンドモール離形紙を剥がしながら貼り付ける。



注！ エンドモール表側に切り込みを入れないよう切断に注意



モールの圧着の際は、49N (5kgf/cm²) 以上で圧着する。

